

# 『時事直言』No.1579 2022年11月21日国会議員号

[HP] <http://chokugen.com/>

[FAX] 03-3956-1313

[twitter 日本語] [t\\_masuda2019/](https://twitter.com/t_masuda2019/)

[instagram] [t\\_masuda2019/](https://www.instagram.com/t_masuda2019/)

[mail] [info@chokugen.com](mailto:info@chokugen.com)

[twitter 英語] [T\\_Masuda\\_eng/](https://twitter.com/T_Masuda_eng/)

[Youtube] [増田俊男チャンネル/](https://www.youtube.com/channel/UC...)



時事評論家 増田俊男

## 日本の物価高の責任は緩和続行の黒田総裁にはない！

FRB(米連邦理事会:アメリカの中央銀行)はインフレを減速させる為本年3月から利上げと資産縮小の金融引き締め政策を続けている。

欧州中央銀行もFRBに倣って引締め政策を続けている。

同じG7メンバーの日本の黒田日銀総裁は引締めの正反対の緩和政策を続行、出口(停止する時)はないと言う。

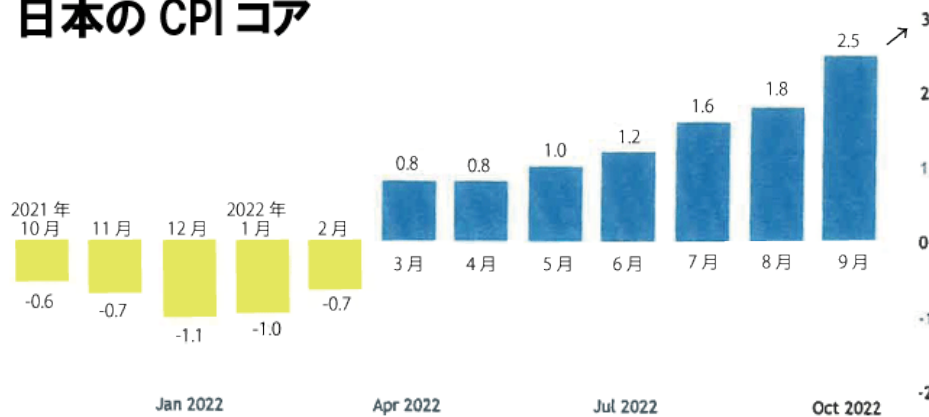


FRBが利上げを断行した本年3月までのドル・円は113円から114円台を推移していたが、3月から円安が始まり、9月22日にはザラ場で145円を付けたため日銀が介入したが効果はなく、10月22日には一時150円を突破、またもや日銀は介入のやむなきとなった。

11月1-2日のFOMC(米公開市場委員会)で4回目の利上げが決まったが、12月は0.5%に利幅が縮小される観測が市場のコンセンサスになった為円安に反転、11月21日現在140.2%まで円高が進んでいる。

円安とは円の購買力が下がることだから、円安は物価を押し上げる。

## 日本のCPIコア



2021年10月からFRBが利上げをする2022年3月までのCPIは10月マイナス0.6%、11月マイナス0.7%、12月マイナス1.1%、2022年1月マイナス1%、2月マイナス0.7%で常にマイナス圏内を脱することが出来なかった。

FRBのFOMC(3月)からプラスに転じ3月0.8%から9月2.5%まで物価指数は上げ続けている。

黒田総裁は11月の金融政策決定会合後の記者会見で、「たとえCPIが3%になっても利上げはしない」と言ったことから、「どんなに儉約しても物価上昇についていけないと言う主婦たちを皆殺しにするのか」など過激な声が聞かれた。

構造改革を呼びながら何もしてこなかった為日本経済は供給過剰のデフレ体質になっていることが2021年10月から2022年2月までCPIのマイナスが定着しているのを見ればわかる。

3月のプラス0.8%から9月の2.5%までCPIが上昇しているのは、本来のモノとサービスの需給関係からではなく、円安によるものである。

CPIが3%になろうと4%になろうと黒田総裁は、物価押し下げ要因となる利上げは出来ないのである。

日本の主婦を苦しめているのは黒田総裁ではなく、パウエルFRB議長である。

正しく市場経済を見抜き、今日から明日の相場でどうやって儲けるかを、刻々と変わる世界情勢と共に、ほぼ毎日指南する。

最近1か月の指南結果は、1,350万円でニッケイ先物を10枚で始めた方が15,600,880円の利益を出したステートメントを本誌で紹介した通りである。

本業外で儲けをしたい、又儲けをしなくてはならない人は「増田俊男の目からウロコの増田塾」へ入会して下さい。

### 完売間近！

#### 増田俊男の小冊子 Vol.129 《日本の真実特集》

現在増田俊男の小冊子 Vol. 129 は**現在大好評発売中**です。内容は**\*特報！安倍晋三の憲法改正に異論あり** \*カイロ宣言、ヤルタ協定、ポツダム宣言と日本の無条件降伏の真実 \*天皇とマッカーサーの真実 \*日本国憲法の真実 \*現状維持で達成できる日本の安全保障 \*私がどうしてもやりたいことなどです。価格は、1冊4,800円(税・送料別)。詳しいご案内、お申込みについてはマスダU.S. リサーチジャパン株式会社 (FAX: 03-3956-1313、HP: <http://chokugen.com/>) まで。

「時事直言」の文章及び文中記事の引用をご希望の方は、事前にマスダU.S.リサーチジャパン株式会社 (FAX: 03-3956-1313) までお知らせ下さい。